第4回THEシガパークビジョン検討委員会でのご意見への対応

参考資料-3

ご意見	理由	頁・行	対応
資料について			
次回からは印刷物で委員会前に確認したい	印刷物の方が見やすいため		次回は印刷物を事前に送付する
第Ⅰ編 THEシガパークビジョン			
P6個別の公園はパークネットワークという言葉がわかりやすい	全委員一致意見となったため	5頁 14行	「パークネットワーク」とする
P6市町の公園、地域団体、企業等に対する呼び名は、メンバー、パートナー、隊員、隊長・・次回以降の宿題	パートナーはTHEシガパークパートナー制度と混同するため	5頁 16行	事務局案として「パークメンバー」を提案する
2.1.公園の役割・とりまく課題(2)現在の公園をとりまく課題			
p10の6行目「共助」は、一般的に災害時や安全安心を言う際に使われる文言、「共創」は、住民自らが取り組む住民自治の力という際に使っていた文言だと思うので確認してほしい	県民が理解できる言葉にするため	8頁	●市民・民間事業者の意識変化 わかりやすく見直し
2.2.THEシガパークを構成する公園の現状と課題(1)THEシガパークを構成する公園について			
p11に公園種別の注釈を入れてほしい	公園の種別を分かりやすく伝えるため	10頁 10行	営造物公園と地域性公園の種別も踏まえ注釈を入れる
2.2.THEシガパークを構成する公園の現状と課題(2)更なる魅力向上に向けた課題について			
13行目に障がい者の文言を追加してほしい	誰もを受け入れる公園とするため	13頁 20行	障がい者の視点を追加する
p15の20行目、財政が厳しいことは承知の上で、最低限の施設更新とならないようどのくらいのレベルを想定するのかをしっかり書くべき。	財政制約などのマイナスな言葉でなく持続可能なマネジメントで工夫していく姿勢を示すため	13頁 25行	●県の財政的制約を踏まえた施設の老朽化等への対応の見直し⇒●公園の価値を高める持続可能な施設マネジメントと修正し、内容を充実化
公園樹木の管理は喫緊で行うべきであるが、予算もかかる。伐採すればよいわけではなく、どのように管理するかだが、27行目の記載は3行では足りない。ビジョンとして未来志向的にこうすべきだというようなことを書いてほしい。	近年の倒木リスクなどに対して専門的なアプローチや地域の見守り体制を構築していくことを示すため	14頁 9行	●公園管理者・造園技術者の確保と新たな管理体制の構築 ⇒●造園技術者の確保と新たな管理体制の構築 と修正し、内容を充実化
今後の気温上昇の課題も見据えた、公園の在り方が書れていたらよいと思う。	アンケートでも要望が多くあり、今後の暑熱対策につなげるため	15頁 17行	●気候変動に伴う夏の利用環境と安全性の確保 の追加
2.3.利用者等の公園に対する思い・期待(1)利用者等の公園に対する思い			
p19のイラストについて、高齢者が悩んでいるように見えてイメージが悪いため差し替えた方がいい 単なるイラストではなく、利用者のペルソナを踏まえたエピソードを描いた漫画のようなものになっていればより伝わりやすい。コラムとして、物語風に書くような工夫があっても面白い。	ライフステージによる公園の過ごし方がより伝わりやすいイラストにするため	18頁 図	ライフステージによる公園利用の例のイラストに差し替え(AI生成)

第4回THEシガパークビジョン検討委員会でのご意見への対応

参考資料-3

ご意見	理由	頁･行	対応
3章THEシガパークの目指す姿			
維持管理に重きが置かれていると感じられ、利用者目線が少ない。公園に対する期待についても県内外で真逆のものを求めており、シガパークはどっちを目指すのか。ビジョンとして県の方向性を決めた方がいい	利用者に自分に対するビジョンと思ってもらえるようにするため	24頁	私たち の視点を追加
県民や公園利用者一人ひとりに「これは私に向けたビジョンだ」と思ってもらえるような表現にする必要がある。			
複数の公園がそれぞれつながり、THEシガパークという一つの公園像みたいなものができているという構造が、イメージ図も含めてうまく伝わると良い。正対で見る図が良い。琵琶湖の周辺も公園であることが分かるような絵。描くものの優先順位をつける必要がある。歴史的建物や交通網などの順位は下げ、自然環境やアクティビティを中心にした絵にするとよい	自然環境やアクティビティを中心とした抽象的イメージ図とするため	25頁　図	ご意見をふまえたイメージ図を作成中(ラフ案を掲載)
琵琶湖を縦長に表示する形で、公園を焦点にあてたイラスト展開で、公園と琵琶湖をつなぐ形で何かできることを挙げる方がイメージしやすい			
抽象的で、おしゃれで可愛くていいなという絵の方が「滋賀県はでっかい公園だ」のイメージだと思う			
ビジョンの対象の個々の公園をクローズアップするのか、県全体の姿を大きく抽象的に描くのかどちらかだと思うが、私は後者が良いと思う。			
ビジョンのイメージなので、細かく具体的でなく、抽象化されたものがいいだろうと思う。			
4.2.取組方針			
「美」「優」「楽」という3つの視点で、こうしますということを明確に打ち出していけば、県民にもわかりやすく伝わる	3つの視点からスリーアップの取組をどう進めるかを補足するため	27頁 28頁	「美」「優」「楽」の視点での取組方針について具体的に記述、表を追加

第4回THEシガパークビジョン検討委員会でのご意見への対応

参考資料-3

ご意見	理由	頁･行	対応
第Ⅱ編　第1期行動計画2030			
2章　2030年の目標			
認知度の計測の複雑さを念頭に置いて目標を設定	根拠を持った指標を示すため	34頁	根拠を踏まえた目標設定の検討
3章　実施内容とロードマップ			
重点事業の絞り込みについて			
P-PFIなどは経済合理性により成立しやすいところに偏ってしまう可能性。どの公園にも満遍なく展開できるような仕組みづくりも含めた議論があるといい	どの公園にも展開できるような仕組みづくりが大切であるため	36頁	PPP/PFI、寄付等を活用した民間との連携　を記載
公園に期待されることや公園が果たす機能を生理的欲求の実現から自己実現欲求の実現までといった形で整理して表現いくようなやり方もあるのではないか。	必要とされるキーワードを絞り込み、重点事業として具体的に示していくため	27頁 28頁	公園への期待や課題から「美」「優」「楽」の視点での取組方針について具体的に記述、表を追加
より多くの県民の関わりしろが生まれる仕組みがあるといい。ハードとソフトをつなぐような関わりしろが生まれる取組も必要		36頁	公園利用者が公園に気軽に関われる仕組みの構築　を記載
防災の観点はマストでやっていただきたい。文化をつなぐようなものにしてほしい		35頁 36頁	地域の安心･安全を支える防災機能の強化　を記載 各公園の活動団体･地域コミュニティ活動との多様な形での協力関係の構築　を記載
ソフト事業は全て行政や公園管理者が担うのではなく、地域コミュニティや様々な市民活動団体と連携して行うことで、県民にとっても愛着が湧き、自ら美化に努めようと思うのではないか。それぞれの公園の設置目的にかかる施策や事業の所管課とともに展開を考えてほしい。		36頁	各公園の活動団体･地域コミュニティ活動との多様な形での協力関係の構築　を記載
各公園に、レンタルスペースのような活用のイメージを想定した設備があると良い。電源やライトの設備があれば、イベント時に加えて災害時も利用できる		30頁 36頁	公園の特徴表を整理し、個別の公園特性に応じた取組を進めることを記載 地域の安心･安全を支える防災機能の強化　を記載
「公園」×「〇〇」のように公園独自の特性を持たせて展開されるといい。滋賀のもともとの自然を観察できるような全天候型の植物園が整備されると自然観察会もやりやすい		30頁	公園の特徴表を整理し、個別の公園特性に応じた取組を進めることを記載